

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年4月26日

事業所名 サトスポキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	86%	14%	・スペースが必要な種目を行う時は部屋を区切る、別室に移動するなどして活動が出来るようにしている。 ・マンツーマンで行い、安全の配慮、空間を意識した場所での活動を行っている。	工夫をしていても児童同士の接触等によるヒヤリハットは発生するので、サポートのスタッフによる見守りをさらに強化していきます。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・子どもの人数を確認した上で適切な人員配置を行っている。	今後も配置数を適切に守り、様々なスタッフと関われる機会を設けていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・利用児一人ひとりに対応を変え、絵カードを用いて視覚的な支援、意思表示の支援など可能な限り本人たちにわかりやすい環境提供できるように工夫を行っている。 ・室内は段差はない。特性に応じて室内の環境整備を行っている。	・ビルの共有スペースのバリアフリー化は進んでおらず、スタッフ等の介助で車いす利用時への対応を行っています。 ・今後も本人にわかりやすい環境設定を行い、配慮してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・会議等での記録を残したり、日々の引継ぎ表などを用いて全員が共有しやすくしている。 担当の利用者さんの目標をその都度設定し、振り返りを行うことで共有している。	今後も日々の業務に関する職員間の共有を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・アンケートを行い、集計した結果に対して会議で結果を職員に共有し、改善点について話し合い、可能な限り反映するように心掛けている。	アンケート回収率の向上を行い、より一層業務の改善に繋げてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・評価を行い、ホームページで公開している。	今後も継続してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	57%	29%	・外部からの訪問、見学等受け入れ、客観的な評価を聞き取り、改善へとつなげている。	今後も様々な機関と連携し、業務改善に繋げてまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・毎月一度以上は内外問わず研修の機会を設け、資質の向上を行っている。	今後も外部の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上を目指してまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・保護者へのモニタリングの結果を基に職員同士で支援会議を行い、支援計画を作成している。	お子様へのアセスメントを行うことで、本人のニーズにもしっかり応えていきたいと思えます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・初回面談時やモニタリング表を用いて標準化されたアセスメントを行うようにしている。 ・行動だけでなく、身体動作についての項目を独自に作成している。	お子様の成長に合わせて、その状況を把握することで、より良い支援に繋げていきたいと思えます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・活動前後に情報の共有を行い、担当指導員が中心となってプログラムを立案し、想定されること安全面、補助の動きなどを全員で確認している。	今後も職員間の情報共有を行い、よりよいプログラムの立案をチームで考えてまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・本人のやりたいことや学校での体育、保護者の方からの要望を聞きながら、指導員からも提案を行い、様々な角度から楽しむことが出来るようプログラムを固定化しないようにしている。	本人のやりたいことや保護者の方の要望を聞きながら、今後もプログラムの工夫を行ってまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・平日、休日、長期休暇及び、お子さんの状況に応じて課題設定をおこなっている。	短時間の運動療育のため、大幅な内容変更を設定するのは難しいですが、長期休暇にはイベントを企画するなどニーズに応じて設定していきたいと思えます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・特性に応じ子ども、保護者と相談した上で集団活動を取り入れている。	今後もご要望に応じて対応して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・毎朝ミーティングを行い、支援の内容や役割を確認している。	今後もそれぞれ声を掛け合って、お互いの役割の確認を行ってまいります。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・終礼を通じて互いに話し合う時間を作り、振り返りノートで情報共有するように工夫している。	今後も継続して必ず支援終了後の振り返りを行い、お互いに気づいた点を共有しあって、よりよい支援に繋がるよう心掛けてまいります。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・活動内容を可能な限り具体的に記録し、必要に応じて閲覧できるように設定されている。	今後も継続して正しく記録を取ることによって、より良い支援に繋がるよう心掛けていきます。	

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・新しい支援計画作成後3ヶ月をめぐりにモニタリングを行うようにしている。	モニタリングを行うことにより常に支援計画の見直しを行ってまいります。保護者様同伴でのご利用なので、モニタリング以外の時期でも必要に応じてご相談に乗っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	・運動を基本に、社会性、日常生活動作に繋がるような支援を意識して行っている。	運動活動に留まらず、コミュニケーションスキルの向上など様々な分野の活動を組み込むことで、よりよい支援に繋げていきたいと思っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・基本的に管理者、主任、リーダーが参画している。	参加させていただく際にそのお子様の状況をしっかり把握し、お伝えできるよう常に職員間での共有を心掛けています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・求められたときにすぐに情報の共有が行えるように準備はしている。 ・担当者会議が行われた場合は情報共有を行っている。	保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思っています。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	・医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	医療的ケアが必要なお子様が今後利用される際は、必要に応じて連携させていただきたいと思っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	・求められたときにすぐに情報の共有が行えるように準備はしている。 ・担当者会議が行われた場合は情報共有を行っている。	保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思っています。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	86%	14%	・今年度に初の卒業生が出るので、状況に応じて情報提供予定である。	担当者会議に参加し、移行先の事業所に当事業所での様子を書面等でもお伝えさせていただきました。今後も切れ目のない支援を続けられるよう、情報提供して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	・他事業所見学、及び見学の受け入れを今年度は行った。 ・助言、研修、見学へと様々勉強させてもらっている。	今後も見学や研修に参加し、支援の質を高めていきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	29%	71%	・今後検討すべきことだと感じている。 ・コロナの状況により機会が作りにくかった。	感染状況を鑑みつつ、イベント参加等地域との交流を今後検討していきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	・定期的に参加をして、情報の共有をしている。	参加した職員からの情報共有を心がけて参りたいと思っています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・保護者の方に見てもらいながら活動を行うので、活動中、活動後などにその日の様子や以前との変化をお伝えするようにしている。	今後もその時々々の状況に応じて、お子様の発達においての課題を共有し、一緒に成長を見守っていききたいと思っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	・希望される方を対象にペアレント・トレーニングを実施している。	今年度は事業所主催でのペアレント・トレーニング講座を開催いたしました。次年度も開催予定にしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・ご契約の際に重要事項を読み上げてご説明している。	利用を開始してからの疑問点があれば、随時お答えしていける体制を整えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・受けた相談や申し入れは他スタッフとも共有し、どのように対応していくなどをチャート表に則り話し合い、対応策を考えている。	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・今年度はピラティス体験等保護者が参加できる企画や、特性や悩みに応じた保護者同士を交流するきっかけ作りを行っている。	今後もそれぞれのニーズに応じた企画を考えてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・対応体制は整備しているが、今のところ苦情等の報告はない。	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・季節ごとに保護者通信を発行し、LINE、HP、SNSなども活用し発信している。	今後も定期的な会報の作成を継続し、保護者様への情報発信に努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・個人情報に注意し、支援に必要な際は保護者様に同意をいただいでから共有させていただいています。	今後も十分注意して取り扱ってまいります。個人ファイルは鍵付き書庫にて保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・子どもの特性に合わせ絵カードを活用するなど、意思疎通の工夫を行っています。	保護者様と個別LINE等を活用し、双方向のやり取りも工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	29%	71%	・招待はしていないが、地域イベントに参加などは積極的に行っている。	感染状況を鑑みつつ、イベント参加等地域との交流を今後検討していきたいと思っています。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	71%	29%	・職員研修や保護者も参加できる避難訓練を行っている。 ・各委員会で策定し、周知する機会を作り、実践も行っている。	職員間でのマニュアル周知は出来ているが、保護者の方全員に周知出来るようマニュアル設置場所の変更等を検討してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・定期的に避難訓練を利用者と共に開催するようにしている。	全員参加が難しいが、掲示物等で周知徹底を今後も続けてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・定期的に虐待に焦点を当てた研修を内外問わず受講し、定期的な会議にて話し合い、対応できるようにしている。	職員間での共有を今後も心がけ、適切な対応を行っていききたいと思っています。

時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	29%	71%	・現状身体拘束について協議を行っている段階であり、職員間ではどのような場合に身体拘束を行うかなどは理解できているが、保護者の方への説明や支援計画に記載等は出来ていない。	児童に応じて支援計画への記載を行ってまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	飲食の機会はありません	今後イベントなどにおいて飲食の機会を設定する場合は必ず医師の指示書に基づく設定を対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・毎日どのようなヒヤリハットがあったかなどは営業終了後に共有し、事例集を作成するなど共有している。	今後も作成と共有を心掛けてまいります。